

| | |
|-----------|--|
| 大正5年 | 国鉄小浜線の敷設工事で西塚古墳の石室開口 上田三平による調査 |
| 大正9年 | 上田三平「福井縣史蹟勝地調査報告」第1冊刊行 |
| 昭和10年 | 西塚古墳、上ノ塚古墳、中塚古墳、上船塚古墳、下船塚古墳 国指定史跡登録 |
| 昭和45年 | 斎藤優「若狭上中町の古墳」刊行 |
| 昭和53年 | 十善の森古墳 福井県指定史跡登録 |
| 昭和62・63年 | 向山1号墳発掘調査 |
| 平成3～8年 | 福井県による若狭地方主要前方後円墳総合調査(報告書は平成9年刊行) |
| 平成4年 | 上中町「向山1号墳」刊行 『日笠地区團場整備事業に伴う発掘調査報告』刊行 |
| 平成18年 | 『松尾谷古墳』刊行 |
| 平成19年 | 立命館大学『若狭・城山古墳発掘調査報告』刊行 高橋克壽 十善の森古墳の副葬品に金銅製透彫冠・履の系譜【『鹿園雑集』第9号】 |
| 平成21年3月 | 糠塚古墳の測量調査 |
| 8月 | 小浜市丸山城跡古墳の測量調査、糠塚古墳の発掘調査 |
| 平成22年～ | 向山一号墳の遺物整理と報告書作成作業開始 |
| 平成22年8月 | 小浜市九花峰古墳の測量調査 |
| 平成22年夏期 | 若狭町歴史文化館「第8回企画展 糠塚古墳～新たなる前方後円墳の発見～」の展示協力 |
| 平成23年8～9月 | 丸山城跡古墳の発掘調査 |
| 平成23年秋期 | 若狭町歴史文化館「第12回企画展 今、よみがえる向山古墳の墳輪たち」の展示協力 |
| 平成24年3月 | 脇袋丸山塚古墳の測量調査 |
| 平成24年8～9月 | 脇袋丸山塚古墳の発掘調査 |
| 平成25年9月 | 藤井岡古墳の測量調査 |
| 平成26年3月 | 科研報告書『古墳時代における若狭地域の対外交渉』刊行 |
| 平成27年3月 | 『若狭向山一号墳』刊行 |
| 平成27年8月 | 藤井岡古墳の発掘調査 |
| 平成28年8月 | 藤井岡三味古墳の測量調査と墳輪の採集 |
| 平成29年8～9月 | 脇袋丸山塚古墳の発掘調査 |
| 平成30年3月 | 科研報告書『中規模古墳の動向から見た大和政権の地域支配』刊行 |
| 令和元年11月 | 西塚古墳の探査 |
| 令和3年 5～6月 | 上ノ塚古墳、糠塚古墳、西塚古墳の探査 |
| 8～9月 | 上ノ塚前方部北側および西側、糠塚古墳くびれ部・前方部南側・後円部南側の発掘調査 |
| 令和5年 3月 | 科研報告書『古墳における湛水状態の周濠内情報の収集に関する研究』刊行 |
| 令和5年 8～9月 | 上ノ塚古墳周堤の発掘調査 |



上ノ塚古墳

◎関連イベント
「若狭の古墳」フォーラム
 2023年10月28日(土)
 花園大学無聖館ホール(無聖館5F)
 開場12:00、開演13:00、終了16:00
 定員495名、申し込み不要、入場無料
 パネリスト:
 高橋克壽(花園大学文学部教授)
 『若狭の古墳の特色』
 近藤 匠(若狭町歴史文化課学芸員)
 『史跡整備に向けた具体的取り組み
 ―若狭の王家の谷 脇袋古墳群を中心に―』
 永江寿夫
 (若狭町歴史文化館館長 兼 若狭三方縄文博物館長)
 『福井県若狭町の考古学調査
 ―三十余年の回顧と展望―』
 ※悪天候などにより中止となる場合があります。

花園大学歴史博物館
 (無聖館4階)
 〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1
 tel. 075-811-5181(代) fax. 075-811-9664
<https://www.hanazono.ac.jp>



〈交通案内〉●京都駅より/JR嵯峨野線「円町駅」下車徒歩8分、市バス26・205「太子通」下車徒歩5分 ●京阪三条駅より/京都市バス62・63・65・66「西ノ京馬代町」下車徒歩2分、地下鉄東西線「西大路御池駅」下車徒歩12分 ●阪急西院駅より/市バス26・27・特27・91・202・203・205「太子通」下車徒歩5分 ※駐車場がございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。



古墳の若狭

—よみがえる若狭の王者たち—

2023年
9月28日(木)―12月23日(土)
 開館時間=10:00~16:00(土曜日は14:00まで)
 休館日=日曜日(但し11月19日は開館)、祝日 入館料=無料
 主催=花園大学歴史博物館、花園大学考古学研究室、若狭町歴史文化館 協力=花園大学博物館学芸員課程
 会場=**花園大学歴史博物館**(無聖館4F)



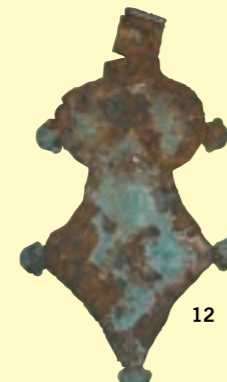
向山一号墳

- 11号短甲
- 22号短甲
- 33号短甲
- 4 玉類各種
- 5 内行花文鏡
- 6 金製垂飾付耳飾



十善の森古墳

- 11 勾玉・管玉
- 12 鉄地金銅張剣菱形鈴付杵葉 (福井県立若狭歴史博物館提供)
- 13 とんぼ玉・丸玉・なつめ玉
- 14 鉄地金銅張双龍文鈴付鏡板
- 15 金銅製冠・履片



古代御食国として朝廷と特別な関係を有した若狭の地域は、狭小な平野部でありながら数多くの前方後円墳が5世紀～6世紀中ごろにかけて連続と築かれた。そこは日本海側各地、そして朝鮮半島の国々と大和をつなぐうえで当時もっとも重要な地域であり、そこには大和にはない特色ある文化、とくに大陸色の強い石室や副葬品が数多く認められた。墳墓に納められた数々の副葬品やそこに樹立された埴輪から、若狭の王者たちの姿を解き明かす。

表紙の写真は向山一号墳後円部石室奥壁出土状況
12をのぞく写真・遺構図はいずれも若狭町歴史文化課提供

今回紹介する古墳の分布図

- A 藤井岡古墳
- B 藤井岡三昧古墳
- C 上ノ塚古墳
- D 城山古墳
- E 向山一号墳
- F 脇袋丸山塚古墳
- G 西塚古墳
- H 中塚古墳
- I 糠塚古墳
- J 十善の森古墳
- K 上船塚古墳
- L 白髭神社古墳
- M 下船塚古墳
- N 日笠松塚古墳
- O 丸山塚古墳



若狭の古墳
—よみがえる若狭の王者たち—

若狭の埴輪

上ノ塚古墳・藤井岡古墳に始まる若狭の古墳に樹立された埴輪は、古墳ごとに違った個性を見せる。地域の中だけで埴輪を用意したのではなく、王権以外にも関係をつなぐ各地の勢力が生産に関与したことがわかる。



向山一号墳

- 1 円筒埴輪 (須恵質)
- 2 円筒埴輪 (土師質)
- 3 蓋形埴輪
- 4 朝顔形埴輪



十善の森古墳

- 5 5・6 円筒埴輪